



今後の進め方について

沼津高架 P I プロジェクト報告会 (2013. 12. 21)

委員会報告書
P 2/3

P I 委員会報告書 (抄) ①

■ P I を通じて共有された事項

- 今後、鉄道高架や貨物駅移転について、早急かつ具体的に案を絞り込むことが必要であり、その際、沼津市や鉄道事業者など重要な関係者との協議や、地元市民の参加と適切な情報提供が必要であることも確認された。

PI 委員会報告書（抄）②

■今後の方向性

- 地域づくりの具体化においては、幅広い市民や関係者を巻き込んだ議論や情報提供を図ることで、PIの基本理念を踏襲するとともに、技術的検討においては、沼津市や鉄道事業者など重要な関係者の関与を得ることが不可欠である。

沼津高架PIプロジェクト

勉強会における共通認識（抄）①

①何も決まらない状態は最も避けるべき

- 事業等の停滞が“不幸”を生んでいる現状を鑑み、勉強会の話し合いや市民の意見を十分に踏まえ、期限を設けて速やかに意思決定し、沼津市や鉄道事業者との協議を早急に開始すべきである。

④沼津市とともに今後とも

市民参加による地域づくりを進めるべき

- 今後の地域づくりにあたっては、県と沼津市が協調し、検討状況に関する情報を市民に公開し、幅広く市民参加の機会を確保しつつ十分な調整を図って進めるべきである。

今後の進め方

1 関係機関との協議

- 鉄道事業者（JR貨物）との協議

2 市民参加の継続

- 地域づくり
- 情報提供

PI委員会報告書手交（11月15日）以降のながれ

